

平成 25 年 3 月 23 日 (土)
午後 1 時 00 分—午後 1 時 40 分
於：Y-G S A・パワープラント棟
水煙会 会長 長崎駿二郎

第 43 回水煙会総会開会のご挨拶

水煙会会長の長崎でございます。『3 度目の正直』と言う諺がありますが、この水煙会総会は、運に恵まれない小生の所為もありまして、ここ 3 回ほどは地震や雨に祟られてばかりおりました。本日は 4 回目にしてようやく好天に恵まれ、多くの方々にご出席戴き、華やかに第 43 回水煙会定例総会を開催が出来ます事、まずは大自然の恵みに感謝すると共に、会員各位の温いご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

本席には工学部同窓会連合の井上誠一会長様を始め、横浜化学会の平井会長様、生産工学会の永井会長様、弘稜造船航空会の平山会長様、横浜三工会の上ノ山会長様、それに後程ご講演を戴きます九州産業大学名誉教授の佐藤正彦先生、そして今年度の水煙会賞を受賞された石田陽是(あきよし)さん、皆様のご臨席を賜り誠にありがとうございました。

昨年この席で、冒頭より会費収入が対前年度比 15.4%も減り、その結果として大幅な赤字決算を余儀なくさせられた旨のお話をさせて戴きました。実は本年度の会費収入も、対前年度比 7.3% DNと多少下落率は改善されましたが、赤字を脱却できる状態には相変らず至っておりません。前回、水煙会を健全に存続させて行くには「まずは会員の皆様に会の存在意義を良く知って貰う事が重要」とご指摘を受けましたので、昨年は色々この点の施策を試行致して参りました。

会報第 42 号の巻頭言にも書かせて戴きましたが、卒業式、入学式、新人歓迎会での PR の他、春と秋に 2 回水煙会セミナーを開催いたしました。ただ、この 2 回のセミナー以外の各式典は「この方針」を決定した直後でしたので、聊か準備不足で、会費納入率を大幅に向上させるような結果は出せませんでした。しかし、これらを実際に試行して見ると「皆が力を合わせしっかり準備すれば、かなり何とかかなりそうだ」と言う手応えは掴めました。ですから平成 25 年度ではもう少し良い結果をご報告できるように、引き続き頑張りたいと思っております。

昨年の暮れの政権交代から、円安・株高と言った動きから、何となく経済再生の動きとそれに伴う高揚感が漂い始めておりますが、「そんなアベノミクスみたいなものは 5 月の参議院選までの事だ」と言う方もおります。でもヨーロッパやアメリカを始め世界中の国が、自国の経済再生を第一に取り組み始めております今、全然サイズは違いますが、水煙会の財務体質もこの機に乗じて改善を計り、何とか前向きかつ上向きのお話出来るようにして行きたいと考えております。どうぞ引き続き、会員各位の温かいご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

相変わらず、金の話でばかりで大変失礼かと存じますが、是非ご斟酌戴き、これをもって第 43 回水煙会定例総会・開会の挨拶とさせていただきます。

以上